

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No.203

2008年

7～8月号

## 行 事 案 内

### 7月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 7月13日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 夏鳥の観察が楽しい時期になりました。この頃の手賀沼は賑やかです。コサギ、チュウサギ、ダイサギ、ゴイサギ、アオサギ、アマサギ、湖面にはコアジサシのダイビング、葦原には大きな口を開けて囀るオオヨシキリ、ヨシゴイの低空飛行、成長したかわいい幼鳥コブハクチョウ、オオバン、カイツブリの姿に期待しましょう。水分補給、暑さ対策もお忘れなく。

解 散 正午  
担 当 小林(寿)、桑森、北原、佐々木、松田、野口(紀)

### 葛西臨海公園探鳥会

期 日 8月31日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子駅改札口 午前8時  
交 通 電車利用 新松戸乗換、武蔵野線、京葉線で葛西臨海公園下車  
我孫子 8:07 発 - 8:20 新松戸着  
新松戸 8:26 発 - 9:03 葛西臨海公園  
案 内 シギ・チドリのシーズンです。その他猛禽類やサギ類が楽しめます。  
持ち物 観察用具、雨具、弁当(葛西臨海公園駅のコンビニで購入可)  
申 込 諏訪まで  
途中合流の方は合流する駅名をご連絡下さい。  
Tel: 04-7188-7137  
担 当 諏訪哲夫、野口隆也

### 8月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 8月10日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 暑い盛りです。コアジサシのダイビングや葦原を飛び交うヨシゴイ、そして田にはシギ・チの姿も期待しましょう。

解 散 正午  
担 当 北原、佐々木、松田、桑森、小林(寿)、野口(紀)

### 白樺峠タカの渡り

期 日 9月22日(月)～23日(火)  
集 合 我孫子駅北口 午前7時  
交 通 バス利用  
宿 舎 奈川温泉 野麦荘  
Tel: 0263-79-2011  
参加費 22,000円程度(交通費、宿泊費等)  
定 員 15名  
案 内 昨年に引き続き、信州松本の白樺峠タカ見の広場でタカの渡りを観察

します。白樺峠は乗鞍スーパー林道途中にある峠で、松本平から御嶽山方向へ山間の気流に乗って流れていくサシバやハチクマが目線近くの位置で観察できます。また、上昇気流に湧き上るタカ柱も楽しめます。実施日は過去観察記録のピーク時にあたり、数千羽のタカの渡りに期待しましょう。

昨年観察された鳥：トビ、ツミ、サシバ、ハチクマ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、アオバト、アマツバメ、アカゲラなど 30 種

持 物 観察用具、防寒具、昼食（途中購入可）  
 申 込 猪爪敏夫 Tel/Fax：04-7186-5075  
 または  
 桑森亮 Tel/Fax：04-7182-3149  
 担 当 猪爪、桑森

---



---

### ホタルの夕べ

---



---

期 日 8月3日(日) 雨天中止  
 集 合 東我孫子駅前 午後7時  
 持 参 懐中電灯、虫除け対策  
 解 散 午後8時を目安。東我孫子駅前  
 案 内 恒例の岡発戸・都部でのホタル鑑賞会です。谷津田は整備されてきて、水辺や湿地の生物も増えてきています。去年はヘイケボタルが159頭観察され、今年はそれ以上の幻想的な光を期待したいと思います。  
 申 込 不要  
 担 当 木村、染谷

---



---

### 映 写 会

---



---

期 日 7月26日(土) 午後1時30分  
 場 所 水の館3階研修室  
 解 散 午後4時(予定)  
 案 内 会員の撮った写真やビデオを映写して楽しめます。作品を発表する方は7月18日(金)までに、諏訪宛

写真の種類、枚数またはビデオの上映時間を連絡してください。写真はスライド、デジタル画像のいずれでも構いません。但し、内容は鳥や動物など自然関連のものとし、一人40枚以内とします。デジタル画像ファイルは下記でお願いします。

メディア：スティックメモリー、CDR、フロッピーディスク。

ファイルは一括コピーできるよう発表者名のついたホルダーに収納。

ファイル名：番号・題名・撮影場所・日付・拡張子

[例]

01 ムナグロ北新田 080501.jpeg(北新田で08/05/01撮影)

番号は映写順番号(昇順、途中の欠番可)、数字は半角2桁1~9は01~09とする。

画像サイズ：800×600ピクセル以内。

発表作品は当日持参してください。但し、デジタル画像は開始前にパソコンにインストールしておきますので午後1時までには持参、提出してください。

担 当 諏訪哲夫、中野久夫  
 連絡先 諏訪哲夫

Tel：04-7188-7137

その他 映写会終了後恒例の納涼会(別途案内)があります。そちらも是非ご参加下さい。

---



---

### 納 涼 会

---



---

期 日 7月26日(土) 午後5時30分  
 場 所 「庄や」我孫子北口店  
 我孫子市我孫子1-1-16  
 Tel 04-7185-3953  
 会 費 男性3,000円 女性2,000円  
 案 内 映写会後の懇親、暑気払いの会です。梅雨も明け暑さも本番となってい

ます。ビールを飲んで楽しいひとときを過ごしましょう。皆さんふるってご参加ください。

申 込 北原建郎

Tel: 04-7183-4683

担 当 北原、染谷

## 行 事 報 告

### 4月手賀沼探鳥会とカウント

4月13日(日)は朝から降り出した雨のため、中止となりました。集まった人数はカウント・ピオトープを含めて20人でした。

担当 松田

<カウント班>木村稔、小玉文夫、染谷迪夫  
調査日時 2008年4月14日 13:00~16:00

晴れ、微風、気温15

調査種	上沼	下沼	合計
カイツリ	15	11	26
カムリカイツリ	1	8	9
カワ	8	21	29
ゴイギ	7	0	7
ダイギ	0	2	2
コサギ	1	1	2
コハチヨ	4	4	8
カガモ	14	18	32
コガモ	41	13	54
ヒトリガモ	0	2	2
オマガモ	0	2	2
オバン	41	19	60
コドリ	1	1	2
コリメ	0	11	11
セウメ	0	3	3
合計	133	116	249

<ピオトープ班>猪爪敏夫、川田光男、間野吉幸、鈴木静治

調査日時 2008年4月13日 9:40~10:40  
雨~曇、微風、気温10

全般:冬鳥、留鳥のさえずり。曇天・寒い日

にも拘らず多種類の鳥が観察された。  
水田:田植え前、最近の雨のため沼の水量多い。田の水溜りでセウメが採餌。

ピオトープ:葦・蒲は枯れ、風雨で低くなる。

柳は花芽から若葉に、桜の花は散っている。

通行人:40-50名の中高年の2団体が賑やか。個人の散歩、自転車はチラホラ。

### 5月手賀沼探鳥会とカウント

5月11日に第19回バードウィーク探鳥会を兼ねて実施の予定でしたが雨のため中止しました。集まった会員は19名でした。(事務局)

<カウント班>木村稔、染谷迪夫、北原建郎、間野吉幸

調査日時 2008年5月12日 9:10~11:50  
曇り、風:弱、気温14

調査種	上沼	下沼	合計
カイツリ	9	3	12
カムリカイツリ	1	0	1
カワ	14	47	61
ゴイギ	2	0	2
アマギ	0	4	4
ダイギ	1	0	1
チュウギ	2	4	6
コサギ	0	1	1
アオギ	1	1	2
コハチヨ	14	7	21
カガモ	6	12	18

コガモ	2	3	5
オバン	6	2	8
チュウシャクシギ	2	0	2
タギ	3	0	3
ユリカモ	1	0	1
コアシサシ	0	5	5
合計	64	89	153

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

調査日時 2008年5月11日 9:20~10:30

小雨、中位の風、気温 15

全般：湖・池の水量多く。冬鳥去り、夏鳥きたる。樹・草・葦が茂り野鳥の姿見え難い。

水田：田植え終わり、稲苗が青々としている。

ピオトープ：水田3面に田植え済、落羽松のハシボソガラス抱卵の様子。

通行人：イヌの散歩、ウォーキング、ランニング 20名、サッカークラブのランニング約 50名

---



---

### 三番瀬・谷津干潟探鳥会

4月19日

---



---

#### 春の渡り、シギチとの出会い

大塚雅子

4月19日(土曜日) 三番瀬・谷津干潟探鳥会の朝は強風と小雨と共に明けました。

4月は定例探鳥会も雨のために中止でしたので、前日の晩は天気予報が気になって、てるてる坊主を下げたい心境でした。今にも雨が落ちてきそうな空を気にしながら到着した我孫子駅には大ベテランが5名。超初心者私たち夫婦を含めて総勢7人の探鳥会になりました。

電車とバスを乗り継いで9時半過ぎには無事に三番瀬に到着。潮干狩りの親子連れを横目に早速双眼鏡をのぞきます。いました！スズガモの一群とその手前の砂浜にはチョロチョロと忙しそうなのシロチドリ。少し離れて薄オレンジ色のきれいなメダイチドリ。夏羽に移行中で黒やまだらのダイゼンも沢山います。ハマシギが右往左往する中にはひっそりとトウネンもいました。それぞれが至近

距離で動くので大きさの違いがとてもよくわかりました。

少し場所を変えると今度は大きなホウロクシギがいました。初めて出会った大型のシギに大喜びしているとちょっと離れて同じくらいの大きさでお腹のあたりが白っぽいシギがいます。こちらはダイシャクシギでした。

なんだか自力で鳥の名前がわかったような書き方ですがもちろん一から十まで全て教えていただいた名前です。手賀沼周辺の鳥がやっと分かるようになった程度の私たちにはシギ・チドリ類はレベルが高くて歯がたちません。三番瀬から谷津干潟へ移動してからも沢山教えていただきました。セイタカシギ、オバシギ、オオソリハシギ、キョウジョシギ、チュウシャクシギ、そして珍しいアメリカコガモ。お馴染みのコガモの一群の中のたった一羽のアメリカコガモ！見つけた方は本当にすごいと思いました。

見慣れた鳥だといふ双眼鏡も流し見になってしまいがちですが、それではいけないとしみじみ思った一日でした。野鳥を守る会に入れて頂いて一年半、今日は初対面の鳥が11種。これで114種の鳥を見たことになりました。

足手まといの私たちにの親切に手取り足取り教えてくださった皆様、本当に有り難うございました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

#### 【幹事報告】

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、アメリカコガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、バン、オオバン、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ハマシギ、オバシギ、オオソリハシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、セイタカシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、コアシサシ、キジバト、ツバメ、ヒヨドリ、ツグミ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス 計 38種

<参加者> 鈴木静治、大塚利行、大塚雅子、川上貢、吉田隆行、(担当幹事) 桑森亮、松田幸保 参加者7名

---

---

## 筑波山探鳥会

5月3日

---

---

### ソウシチョウの鳴き声が！

古賀道子

今回 初参加です。「筑波山」には何度か登ったことはありますが、探鳥では初めてです。朝 生憎の雨模様、中止と思いきや決行とのこと。我孫子では大丈夫だった天候も山頂は雨、男体山・女体山も見えないガス、当然鳥影も見えず残念。

登りはケーブルカーを利用し、下りは皆さんと一緒に初めて通る裏道を歩きました。雨の中、傘をさして ぬかるんだ降り坂は滑り易く、一步一步気を付けて下山です。次に「薬王院」に向かいました。鎌倉時代建立の由緒あるお寺です。もったいなくも鐘楼の四角桁にぐるりと座って、お昼を戴きました。数百年経た古木スダジイにエネルギーを頂き、僅かの鳥にしか出会えなかったけど楽しい一日でした。来年の「筑波山探鳥」を今から楽しみにしています。

「追記」

古賀嗣朗

担当幹事染谷さんの車に分乗させて戴いた為、「涸沼探鳥会(12月30日)」に続き拙文を書く羽目に、お許し下さい。涸沼も荒天だったが、日本百名山「筑波山」でも雨、朝筑波山神社に御参りしたのに！

我孫子駅、集合時刻に現れない人に 幹事の野口さんが電話するも数人欠席です。それでも総勢 22 名、熱心なバーダーに感心です。しかも健脚組が 19 名とは驚きです。

弱脚組は猪爪さんと我々の 3 名、筑波山神社境内をゆっくり祈る様にして登ります。ウグイスが大声で「ホーホケキョ」と囀り、シジュウカラが石垣の隙間を出入りします。9:40 発ケーブルカーには十数名も乗り、雨天にも拘わらず登山する人も見えます。終点「御幸ヶ原」は雨とガス、展望塔でコーヒーを飲み、健脚組本隊の到着を待ちます。猪爪さんから「菅平探鳥」や「筑波山のソウシチョウ」など興味深い話をお聞きます。サービス嬢がドコモ携帯なら通話可と言うも、全然連絡通話が出来ません。野口さんがあちこち歩き回って、やっと我々を探して下さい、本隊と合流出来ました。男体山一周の自然研

究路を 2~30m 行くも、雨とガスの為、引き返します。下山することになります。途中でソウシチョウの鳴き声を教えて貰います。坂道はぬかるんで滑り易く、やっとの思いで駐車場に辿り着きます。翌日私の足の脹脛は痛くなっていました。2~3 日痛みは取れませんでした。靴とズボン裾が泥だらけ、水溜りで汚れを落とします。雨は止んでいました。

次に車は「薬王院」に向かいました。昼食を食べていると、鳥の鳴き声が聞こえます。コジュケイかアオゲラか？判りません。シジュウカラ、ヤマガラ、メジロなどが飛び回っています。ここで「鳥合わせ」です。私の確認出来た鳥は ほんの僅かしかありませんでした。

帰り道「ロードパーク」でトイレ休憩です。ここから広々した田圃が見渡せます。シギチ類が数羽いますが、スコープを持って来なかったので識別出来ません。上空に ダイサギやアオサギが飛んで行きます。再び「鳥合わせ」です。そして解散になりました。

雨天探鳥は 幹事さん泣かせの涙雨です。数日前から当日まで、本当にお世話になりました。誠にご苦勞様でした。妻共々 来年もよろしくお願い申し上げます。

筑波山では早くから野生化していたという「ソウシチョウ」について調べた。スズメ目チメドリ科。漢名「相思鳥」、英名「Pekin Robin(北京駒鳥)」。ミャンマー・ベトナム・中国に分布、森林下層部や茶畑に生息する。古くより中国や日本で飼い鳥として広く飼育されている。日本の図鑑では「移入外来種」、1980年代頃から野生化して茨城・神奈川・静岡・兵庫などで生息・繁殖するようになった。全長 15cm と小さいのに、ウグイスに負けず、大きなよく響く良い声で鳴く。「囀りはクロツグミに似るが、リズム感に欠ける」、「地鳴きは、ジェツジェツ、又はフィーフィーフィー」との説明文がある。染谷さんの「筑波山で聞ける鳥の声」リストの中で、姿を見ていない鳥が、ソウシチョウとヤブサメなので、期待して参加したのですが残念。来年に望みを託す所以です。

又、この中で ソウシチョウのみ 自分で鳴き声をカタカナで書いてみてと。そこで 1~2 回しか聞けなかったけど、ウグイスみたいな良い声で、「ピーピチョー ピーピチョー

ピーピチョ」では如何ですか？

#### 【幹事報告】

<認めた鳥> チュウサギ、カルガモ、コジユケイ、キジバト、アオゲラ、コゲラ、ツバメ、アマツバメ、ヒヨドリ、ミソサザイ、ヤブサメ、キビタキ、センダイムシクイ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ウグイス、ソウシチョウ、オオルリ、ハクセキレイ、コサギ、アマサギ、ムナグロ、ハシボソガラス、ヒバリ、ダイサギ、アオサギ、エゾムシクイ 計 34 種

<参加者> 田丸喜昭、田丸リールイス、宮下三禮、谷山晴男、間野吉幸、天野睦子、西嶋朋生、西嶋みどり、大塚利行、大塚雅子、田中功、中野久夫、類地佑子、桑森亮、北原建郎、猪爪敏夫、古賀嗣郎、古賀道子、吉田隆行、松下勝子（担当幹事）染谷迪夫、野口隆也 参加者 22 名

\* 今回の筑波山探鳥会は、筑波山は雨が降っていない（筑波付近の天気予報）事を信じて、決行した探鳥会でした。筑波山の登山口までは一粒、二粒の雨でしたが、頂上付近の御幸ヶ原は雨でした。雨足が強く、自然遊歩道は途中まで行き、さわりの部分で引き返しました。下りの道は整備したばかりの道で地盤がゆるく散々でした。それでも薬王院で何とか昼食を取り、無事帰還しました。

---

---

### 戸隠高原探鳥会

5月24日、25日

---

---

#### 高原の小鳥達のさえずりを聞く

鳩川堯

5月24日（曇り）

我孫子駅北口、午前8時に出発。隣席の植田さんとデジスコ、6月に行かれる北欧旅行のことなど話し、バスは関越道から信越道に入り、車窓から新緑の中にアカシア、桐、山藤の花を所々に眺め、かつて訪れた堀辰雄文学記念館、藤村の懐古園、上信越のスキー場を思い出し、やがて松代PAに着き、昼食は午後の空模様を考え短時間で取り、信越町ICから県道36号に入り、午後1時30分頃戸隠牧場に着く。入口付近でニリンソウ、水

芭蕉。カッコウ、ホトトギス、ツツドリの声などに迎えられ中に入る。

先ずアカゲラ、次ぎにカッコウ等を探鳥し、柵の左側にのんびりと過ごす乳牛、右側に黒毛牛を見て、2ヶ所の小川を渡り、小雨が降り始め、モズを見て折り返しバスに乗る。その間、二つ目の小川の半過ぎて、先行の男性が転倒、又茶店に財布を忘れた女性とハプニングがありました。

午後3時頃、宿に着き荷物を置き、同室の北原さん、植田さんの3人で小雨の中、北原さんの素早い探鳥と豊かな知識に助けられ、アカゲラ、キビタキ、ゴジュウカラ等を見て午後4時頃帰宿する。入浴後、食前酒に赤ワイン、日本酒（雪中に3ヶ月）山菜料理。懇親会は赤ワイン、日本酒をいただき、明日のアカショウビンを期待し就寝となる。

5月25日（曇り）

昨夜中降った雨もあがり、午前8時30分バス出発。大鳥居で下車し、奥社参道の随神門で高くうっそうとし、神さびた杉並木に野鳥との出会いを祈り、その帰り高い木の横枝にフクロウを探鳥。午前10時、森林植物園をガイドの案内で木道や小道を歩き、幾組ものバーダーとすれ違い、出会う。

先ず、みとりが池でカエルの声を耳に、キセキレイのつがいを見る。ここかしこに高原の小鳥達のさえずりを聞き、最後に真打のアカショウビンの登場を期待するが、声も姿も見えず。ガイドの指先の高木にアカゲラ巣穴を見る。

昼食は「そばの実」で取り、バスで鏡池へ。ジュウイチの声、空にはアマツバメ。池を鏡に、頂上附近に霧を頂き、沢に幾筋かの雪を残し、水墨画の風情を思わせる西岳、戸隠山に帰りの安全を拝み、午後2時バス出発。東部湯の丸、上里SAで休憩し、午後6時30分頃に出発地に到着する。

最後になりましたが参加者、幹事、運転手の皆様お世話になり、至福の時をありがとうございました。

#### 【幹事報告】

<認めた鳥> カイツブリ、アオサギ、カルガモ、トビ、ノスリ、ヤマドリ、キジバト、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、ジュウイチ、フクロウ、アマツバメ、ツバメ、アオゲラ、

アカゲラ、オオアカゲラ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、サンショウクイ、ヒヨドリ、モズ、ミソサザイ、コルリ、クロツグミ、アカハラ、ウグイス、センダイムシクイ、キクイタダキ、キビタキ、コサメビタキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、クロジ、カワラヒワ、イカル、ニュウナイスズメ、コムクドリ、ムクドリ、カケス、

ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 50 種  
<参加者>中野久夫、古賀嗣朗、小林秀美、吉田隆行、大久保陸夫、間野吉幸、桑森亮、諏訪哲夫、西巻実、宮下三禮、北原建郎、松田幸保、山本貞江、植田啓介、鳩川堯、川村宏、松本善子、古場澄子 (担当幹事) 猪爪敏夫、鈴木静治、西嶋昭生 参加者 21 名

## ツミ 恐怖の体験

大久保陸夫

極最近、とある所に、ツミの写真を撮りにいった時のことです。最初、TV アンテナに留まった雄のツミを撮っていたところ、左側からギャーギャーと鳴き声がきこえたので、そちらを見たら、雌のツミが電線に留まって鳴いていました。距離約 50 メートル。あとで感じたことは、雄に対する警告音と営巢中 (場所不明) の警戒音を発したものだと思われる。

そんなことで、雌を撮るためそちらにカメラを向け、撮り始めた。しばらくして、突然デジスコの視野からツミが消えてしまった。どこへ行ったか目で確かめるため、デジスコから目を離れた途端、なんと 5~6 メートル先に私を目がけて飛んでくる眼光鋭いツミを発見。瞬間、本能的に頭を下げた。頭上すれすれをシュッと音をたてて通り過ぎるツミ。返すように第 2 撃。続いて第 3 撃と襲撃を受けた私は恐怖を感じ、デジスコをホッタラカシにして大木の幹に背中をつけて退避した。どこから襲われるか恐怖感から、キョロキョロする私。この姿は誰にも見られなくてよかった。クスッと一人で苦笑い。その後は、威嚇されることはなかった。

それにしても、ほんとうに怖かった。生まれて初めての恐怖を味わった。桑原! 桑原! あとで連写した写真の最後の画像を確認したところ、まさしく私をめがけて飛び立ったツミの目線、デジスコを通してはっきりと画像に残っていた。最後に反省。「ツミに恐怖をあたえて、ごめんなさい」

## 八重山鳥見紀行

諏訪哲夫

3月19日から22日までY社のツアーで西表島、石垣島に行ってきました。同行は講師二人と添乗のY社長を入れて合計21人と賑やかな鳥見旅行でした。

石垣島には仕事で行ったことはありましたが西表島は初めてで出発前から今度は何種類の初見参の鳥達に出会えるかと期待に大いに胸を膨らませて19日に羽田空港の集合場所に行きました。航空券を受け取り待合室に入ると昨年宮古島に出かけた時に同室だったEさんがいて再会を喜びあいました。このEさんとは先日ウミバトを見に銚子に出かけたとき又ばったり出会って奇遇にびっくりという後日談もありました。羽田発7時55分の全日空機で出

発し、那覇経由で石垣空港に着いたのは 13 時過ぎでした。すぐ石垣港に向かい高速フェリーに乗って西表島に向かいました。波が多少高くて当初予定された上原港ではなくホテルからは反対側の大原港に着き、バスでホテルに向かいました。西表島でのホテルは西表アイランドホテルで小振りなホテルでした。

ホテルに着いたのは夕刻でしたが荷物をホテルに置いて早速付近の探鳥をしました。この日はカンムリワシを見ることはできませんでしたがシロハラクイナ、ハヤブサ、ミサゴなどを見ることができました。また宿の近くに 123° 456789 と刻まれた面白い子午線のモニュメントがありました。

2 日目は終日バスで西表島内をじっくり回って多くの鳥達に出会うことが出来ました。今回のツアーで一番見たかったのはヤツガシラでしたが現地講師のMさんの話ではまだ入ったという情報が無いと言っていたので駄目かなと思っていたところ白浜港近くの小学校の校庭にいるのを参加者が見つけ大騒ぎになりました。私も少し距離は遠かったのですが夢中でシャッターを切りました。関東地方にもたまに入るということですが今までご縁がなかったので喜びはひとしおでした。講師の話ではカンムリワシは随所で会えるということでしたがなるほどこの後あちこちで見ることができました。なんとなく愛嬌のある顔つきでとても親しみがもてました。ムラサキサギは我孫子の田圃でアオサギを見るような感じで採餌をしていてびっくりしました。

期待していたズグロミゾゴイとの出会いには更に驚きました。西表らしい雰囲気の家並みのある家の庭でミミズを捕っていました。こんなところに珍鳥がいるなんて如何にも西表と言う感じでした。ズグロミゾゴイで騒いでいると今度は向かいの木立にズアカアオバトが出ているというので一同慌ててそちらに向かいました。なるほどズアカアオバトが盛んに木の実を食べていました。そこにまたカンムリワシもやってきて目の前の木に止まり、大忙しでした。この後もシマアカモズやリュウキュウサンショウクイ等などの多くの鳥達との出会いを楽しんだ後ひとまずホテルに引き上げました。

夕食後は夜の探鳥に出かけました。狙いはリュウキュウコノハズクでした。鳴き声は何箇所かで聞こえるのでその近くに行き、講師が大きな強力懐中電灯で照らして探しますが枝に邪魔されて見つけることができませんでした。講師たちはリュウキュウコノハズクの鳴き声を真似るのが上手でコホッ、コホッと真似ると反応があるので感心しました。

最後にもう 1 箇所行ってみようと宿の近くに帰ると鳴き声が近くに聞こえ全員必死に探しました。すると集会場らしき建物の上に付いているシーサー(屋根瓦に乗せる沖縄独特の飾り)の中に入り込んで鳴いているのを見つけ、全員大感激でした。

3 日目は石垣島に向かう前に宿の近くを早朝探鳥し、じっくりカンムリワシを見たり、シロハラクイナの写真を撮ったりした後 9 時 20 分の高速フェリーで石垣島に渡りました。石垣に着くとすぐ近くの港に黒いクロサギが出迎えてくれました。講師が飛んでいったので何かと思ったらウミネコが出たと喜んでいました。八重山ではウミネコが珍鳥なのだそうその話を聞き全員が笑ってしまいました。

石垣島は西表島に比べてぐんと開けた感じでポイントも普通の田圃や畑の中でポイントを絞るのが難しそうに思いましたがそこはベテラン講師でいくつかのポイントを回り珍しい鳥を探してくれました。道路脇の電線に珍鳥が止まっていたりするというので目が離せませんでした。何の変哲もない畑の空き地でキマユツメナガセキレイを見つけたときはバスの中が騒然とし、参加のご夫人達も大喜びでした。

シギ・チを多く見ることができるといふ浜辺に行きましたが私たちには見慣れたシギやチドリで感激するような鳥達には出会えませんでした。参加者の中には日頃シギやチドリをあまり見ていない人達もいて結構熱心に観察していたのは印象的でした。ここではクロツラヘラサギを見ることができました。

ラムサール条約の登録湿地になっているヤンパル干潟にも寄りました。ここはマングローブの広大な自生地であってナンヨウショウビンが観察されたという場所です。シギ・チの数



は少なかったのですがマングローブの林を満喫することが出来ました。石垣に入る前から大珍鳥のノドグロツグミが2週間ほど前から入っていると聞いていたので期待してそのポイントに行き粘りましたが結局現れませんでした。

宿はスリープイン石垣という結構大きくてきれいなホテルでしたがレストランは館内にはないというビジネスホテルで一寸びっくりしました。夕食は石垣に住んでいるという現地講師のなじみの居酒屋に全員で行き、石垣料理をいろいろ食べましたがアルコールが入ると段々盛り上がってきて何だか宴会みたいな雰囲気になりました。最後はおにぎりくらい出るのかと思ったらお腹にたまるようなものは出ず、下戸の私は空腹のままホテルに帰ってくるようになってしまいました。

4日目は朝食を済ませた後石垣を出発する時間まで島内を探鳥しました。このホテルは朝食だけはバイキングスタイルで提供するというシステムで合理的だと思いました。ただ観光客は夕食をどこで食べればよいのかわからないと思うのでその辺の一工夫が必要かもしれません。

一番で再度ノドグロツグミを探しに前日のポイントに行きましたが結局会えませんでした。が初見のカラムドリに出会うことが出来ました。最初に回った田圃めぐりではムラサキサギの他シロガシラが電線に止まっているのを見ることができました。この日の目玉はクロウタドリで案内してもらったスポットはなんと牛小屋でした。牛小屋には極小さな牛の運動スペースがあり、その中でクロウタドリは採餌をしていました。地面はぬかっているのが餌が多いのではと思いました。最初はバスの中から見ていましたが降りてもよいというのでバスから降りて積んである藁の山の陰からみな写真を撮っていました。私も柵に邪魔されながらなんとか証拠写真を撮ることができました。

最後に回ったのはダム湖でしたが変わったカモはいなくて手賀沼でよく見るカモばかりでした。ミサゴが悠然と飛んでいるのが印象的でした。

これで全行程を終了し石垣島を13時半に後にし那覇経由で羽田に17時過ぎに到着しました。4日間天候に恵まれ多くの鳥達に出会えて非常に充実した鳥見旅行でした。因みに鳥合せでは78種でした。

旅行会社のツアーは料金がが高いのが難点ですが現地に詳しい専門の講師が同行しているので珍しい鳥が出て鳥名がわかり、スポットも確実に回って探鳥できるので遠隔地に行くときは無駄なく鳥見ができるのが何よりだと思います。探鳥ツアーなので西表・石垣共に観光スポットは通り過ぎるだけでしたがマングローブの茂った西表の風景は八重山らしい趣があり。探鳥しながらもちょっぴり観光ムードに浸ることも出来ました。

今度また八重山を訪れることがあれば今度は観光名所などを見ながら探鳥をするゆとりもあるのではと思っています。

## 2008 / 軽井沢夏鳥との出会いの旅

桑森亮

08年GWの4月29日～5月1日に今シーズン最初の「夏鳥との出会いの旅」に出かけた。メンバーは、一昨年に軽井沢・裏妙義・小根山森林公園の探鳥ツアーにいった面々で、猪爪さん、諏訪さん、北原さんと私桑森の4人、行き先はお馴染みの「軽井沢野鳥の森」と探鳥地としては余り聞くことのない「菅平高原」の二箇所の計画。

4月29日(火)、午前10時我孫子発、定番どおり三芳SAでトイレ休憩、横川SAで昼食、午後1時半頃には目的地の「軽井沢野鳥の森」到着。GWの谷間で道路は渋滞することなく、車は極めて順調に走った。

「ピッキオ」で情報を仕入れると、夏鳥はほぼ出揃っているとのこと。まずは手始めに、湯川沿いを歩きくとキセキレイの出迎え。この日は時間も限られるので、湯川と「ミソサザイの沢」を中心に探鳥する。諏訪・北原組が先に進み、猪爪さんと私は少し遅れて湯川の上流に向かって歩くと、声は離れて聞こえるが時期が少し早いのか鳥の気配は今一の感。とすると、道路脇に大きめの鳥が現れ、クロツグミが腐食した落ち葉の中を突きながら歩いている。

「ミソサザイの沢」に入ると、早速ミソサザイが大きな囀りで姿を現す。少し進むと、山の斜面にはオオルリが2羽見え隠れし、反対の斜面にはキビタキが林間を動き回る。まだこの地に来たばかりなのか、縄張りを物色しているようで、姿は見せるが囀りはしない。小一時間ほど同じ場所にいると、オオルリ、キビタキが休むことなく出入りで目を楽しませてくれた。合い間には、サンショウクイがピリリと鳴きながら上空を舞い、カラ類が飛び交う。この日は様子見で4時には探鳥を切り上げ「野鳥の森」を出、4時半頃に北軽井沢の某山荘に入る。周辺は「あやめが原」というカラマツとアカマツの構成林でカラ類やアカゲラが多く見られる。山荘は冬季明けで状態が悪く、管理人さんに設備の点検をお願いし、その間、他のメンバーは周囲を散策。夕暮れ時になり夕食を求めてお店を探すが、殆どが休業中で唯一のレストランで食事をとり、山荘に戻るとお酒で喉を潤しつつ鳥談義の後、10時過ぎには就寝。

4月30日(水)、夜が明け始める頃、早朝探鳥に出ると、山荘裏間近でコルリの声があるが姿は見えず。キビタキ、アカハラ、ビンズイの囀り、アカゲラが鳴きながら林の中を飛ぶ。カラ類はヒガラ、シジュウカラが中心に動き回る。北軽井沢は標高がかなり高いが、夏鳥の囀りは星野の「野鳥の森」より良く聞こえた。

朝探から戻ると前日にコンビニで仕入れた朝食を早々にとり、再び「野鳥の森」をめざす。9時頃には現地に着き、本格探鳥に入ると、駐車場の直ぐ近くでミソサザイの声が聞こえ、橋の袂の小枝で囀っている。

この日は、中西悟堂の石碑がある入り口から山に入り、沢沿いにどんぐり池に向かう。途中、センダイムシクのチヨチヨピーが聞こえ、水場にはコルリが現れる。カラ類の中に黄色い小鳥が数羽飛び交い、素晴らしい声で囀っているのはノジコだ。アオジに少し似ているが胸から腹は縦班がなく一様にレモン色だ。どんぐり池近くでもノジコがいてかなり近くで見ることが出来た。ここではカケスの声と姿があり、久しぶりのカケスとの出会いだった。今年の冬はカケスの声や姿を見ることがほとんどなく、北原さん曰くは「カケスは死に絶えたんじゃないんだ！」の一言。

どんぐり池から鶴溜まで山を歩くと、アカハラがキョロロンヒーヨ大きな声で鳴き、イカルが綺麗な音色を聞かせてくれるなど、色々な鳥が現れた。鶴溜の東屋で一休みの後、山を下りミソサザイの沢へ降りるとオオルリの囀りが盛んに聞こえ、一行は前日と同じポイントで暫し鳥を待つ構えとする。私は昼食時間まで小一時間あったので1人で再び別のルートから山に入り、半周することにした。道中ではカケス、オオルリなどを見つつ歩くと、直ぐ脇から小鳥が現れ、双眼鏡を向けるとヒガラだ、とすると倒木の下から全身が明るい茶色で白い大きな眉班がある小鳥が飛び出し、忙しく動いて木の陰に隠れた。一瞬何の種の鳥かと思いを巡らし、ヤブサメではと考えたが自信はない。昼食時に図鑑を見るとやはりヤブサメであり、何時もシシシと声はすれど姿は見えない私には幻のような鳥であり、初めて出会えた感激のひと時だった。

私は昨年もGWの同じ頃軽井沢に来ているが、今年は鳥層がやや異なり、去年はアカゲラ、カケス、オオルリ、コガラが目立ち、今年はノジコ、クロツグミが良く見られた。

昼食後、午後1時過ぎには「野鳥の森」を後にし、一路菅平高原へ。ルートは、北軽井沢に逆戻りし、鬼押ハイウェイから長野街道(国道144号)を通過して菅平に向かう。浅間山の北山麓を走る山中の道路で、途中に田代湖という人造湖に立ち寄るが鳥影は薄い。道中は車が少なく快調で、標高が高いこともあり満開の桜があちこちで見られ、モモにコブシ、レンギョウなど彩とりどりの花が咲き誇り、低地では3月から順に咲く花もここでは一気に咲き出すようだ。

快適なドライブを楽しみながら1時間半ほどで菅平に到着。菅平では桜はまだ蕾状態で標高は1200mを超えるのだろう。まずは宿舎の某社の保養所にチェックインし小休止。宿の回りは白樺や低木の斜面地でスキー場が近い場所にあるが、コガラの声がする程度で鳥の気配は少ない。時間はまだ早いので探鳥予定地の「菅平高原自然館」と「菅平湿原遊歩道」の下見に向かうことにする。

現地に着くと「高原自然館」は人の気配はなく閉鎖されており期待倒れで、仕方なく「湿原遊歩道」を歩くことにする。ここは、周囲3kmほどの遊歩道に囲まれた湿原に木道が整備されている。湿原はヨシなどの水生植物とハンノキや低木の疎林で構成されおり、貴重な植物が自生し、黒サンショウウオなども棲息しているとの案内板がある。

入り口の石垣の間にシジュウカラが入り込んでおり、営巣しているようだが、人気はなく、あまり期待できそうもない雰囲気の中で木道に入る。ところが、期待に反して湿原には水芭蕉が咲いており、小鳥も思いのほか多く、カラ類にアオジがあちこちで囀っている。アカハラやクロツグミの囀りが聞こえ、アカゲラが飛んでいる。木道の途中で植物調査員の一行と出会い、鳥の様子を訊ねると、種類などは分からないが早朝は鳥の声が良く聞こえるとのこと。下見は1時間半ほどで切り上げ、翌日は早朝探鳥に臨むことにする。宿に戻ると、前泊地はコンディションが悪く風呂も入れなかったため、大風呂でゆっくり寛ぐ。部屋も広くて快適で食事も良く、前日と比べると天国でお酒もすすみ、ほろ酔い気分の中、翌朝の鳥果を願いつつ就寝。

5月1日、5時に起きると早速朝探に向かい、5時30分には現地着。木道から入り、周囲の遊歩道を歩くと、鳥影が濃く、途切れることなく何がしかの鳥が現れる。カラ類3種にメジロ、エナガ、コゲラの6種類のまさに混群に出会ったり、20メートル程の間近の距離でアカゲラが巣穴に入出入りするのが見え、周りにはコムドリがいる。クロツグミは高い木の天辺で囀り、コサメビタキが飛び交うと思うと、突然ノスリが現れる。朝日の中で黄緑色に輝くアオバトも見ることができた。2時間半で一回りすると最後はニュウナイスズメが締めくくってくれ、充実した探鳥であった。おまけは、遊歩道で数人のランナーと出会ったが、入り口近くにテレビで見たことのある人がランナーと話している。オリンピックのマラソン選手だった谷口選手だった。どこかのチームが合宿でもしていたのだろう。宿舎に帰る途中では、道路脇の砂利道の水溜りにイワツバメが30羽ほど水を飲んでいるのに出会い、車中から目前にイワツバメの白い腰が見えた。

ゆっくりした朝食を終えると、朝探で菅平湿原は十分楽しんだため、この日の計画を変更することとし、皆でどこへ行くか相談。諏訪さんが昨年見ているチゴハヤブサの営巣地が近くの須坂市にあるとのこと、これをターゲットにする。当地の場所等を知っている松田さんに電話をして確認し、宿の管理人さんに聞いた場所のイメージとナビを頼りに目的地の墨坂神社に向かう。30分ほどで迷わずに現地に着き、神社の境内にあるケヤキの大木にチゴハヤブサを探す。暫くして猪爪さんがチゴハヤらしき腹が赤っぽい鳥を見つけるが直ぐに飛び立ってしまう。戻るのを待つが出てこない。とすると、上空を見ると翼の長い鳥が2羽飛び交っている。一瞬、アマツバメと思ったが、北原さんは違うようだという。よく見ると、確かに違いハヤブサのようだ。白っぽい色合いで翼と尾羽が長くスマートな鳥で、後で図鑑を調べるとチゴハヤ♀だと確信できた。

神社の境内には散歩の人たちと出会ったが、地元ではチゴハヤの営巣は良く知られているようで、私たちの姿を見て話しかけてくれた。その中の1人が隣の中野市にある夜間瀬川の崖にチョウゲンボウの繁殖地があるとの話しを聞かせてくれた。そこで、チゴハヤは戻る気配はないので1時間ほどで切り上げ、チョウゲンボウにターゲットを切り替える。

12時過ぎには、「十三崖」と呼ばれる有名なチョウゲンボウの集団繁殖地に着き、夜間瀬川の河原に車を止め、崖の巣穴を探す。この地は、ブドウ畑の斜面の麓に川が流れ、一方は河原で、一方は赤い土が露出した高い崖になっており、崖が200~300mは続いている。崖には巣穴が多数あり、チョウゲンボウが少数だが出入りしている。1羽のチョウゲンが巣穴

に止まるとスズメらしき獲物を突き始める。崖を見つめていると飛んでは消え、枝に止まるといった感じで現れる。崖の上空にはアマツバメも飛び交っている。ここは他の鳥がいるわけではないので、1時間ほどで切り上げ、帰路についた。鳥見人としては著名な「十三崖」を一度見てきたといったところか。

帰りの移動も順調で渋滞に会うことなく、予定よりかなり早く5時頃には我孫子に帰着した。2泊3日の旅はあっという間に過ぎたが、軽井沢は予想通り、菅平は予想外に楽しく、計画外にチゴハヤブサを見、チョウゲンボウの営巣地に足を伸ばし、以下に示す58種類の鳥たちに出会えた充実した3日間だった。

(観察した鳥)カワウ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、トビ、ノスリ、チゴハヤブサ、チョウゲンボウ、ヤマドリ、キジ、キジバト、アオバト、ツツドリ、アマツバメ、カワセミ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、サンショウクイ、ヒヨドリ、モズ、ミソサザイ、コルリ、クロツグミ、アカハラ、ツグミ、ヤブサメ、ウグイス、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ノジコ、アオジ、カウラヒワ、イカル、ニューナイスズメ、スズメ、コムクドリ、ムクドリ、カケス、オナガ、ハシボソガラス 58種類(うち、菅平では下線の38種)

## 鳥 だ よ り

- |   |  |
|---|--|
| 03.22 [箕輪新田先手賀沼] コトドリ(1) 鳴きながら移動 飯泉仁・久美子          | 03.23 [久寺家] ツバメ(1) 金谷水門で 中野久夫              |
| 03.22 [箕輪新田先手賀沼] ヒバリ(1) 畑で囀っていた 飯泉仁・久美子           | 03.23 [北新田] ノスリ(1) 帆翔 中野久夫                 |
| 03.22 [片山] ヤマガラ(2) 15:05~15:20、鳴きながら移動 飯泉仁        | 03.23 [北新田] ヒヨドリ(1) 、物色飛翔 中野久夫             |
| 03.22 [下沼田] ノスリ(2) 電柱上に止まり餌を探す 鈴木静治               | 03.27 [布佐平和台] チョウゲンボウ(1) 上空を利根川方向へ飛ぶ 鈴木静治  |
| 03.22 [下沼田] 材木(1) 田より飛び枯葦に止まる 鈴木静治                | 03.28 [北新田] ツバメ(1) 2号排水路上を飛翔 中野久夫          |
| 03.22 [千間橋] ハヤブサ(1) 農道中央に止まる 鈴木静治                 | 03.29 [呼塚新田北柏ふるさと公園] アシ(1) 採餌、枝上で羽繕い 大久保陸夫 |
| 03.22 [千間橋] トビ(1) 手賀川堤防上空を巡回 鈴木静治                 | 03.29 [千間橋] ノスリ(1) 田の棒に止まり餌探し 鈴木静治         |
| 03.22 [布佐平和台] ノスリ(1) 上空高く巡回 鈴木静治                  | 04.02 [北新田] ツバメ(2) 2号と4号排水路で 中野久夫          |
| 03.23 [酒井根下田の森] ヤマガラ(1) 14:40~15:30、囀っていた 飯泉仁・久美子 | 04.02 [中沼田] コトドリ(2) 採餌 志賀鉄雄                |
| 03.23 [北新田] ハヤブサ(1) 電柱上 中野久夫                      | 04.03 [江蔵地] トビ(1) 川原上空を巡回 鈴木静治             |
| 03.23 [北新田] コトドリ(2) 越流堤で 中野久夫                     | 04.03 [江蔵地] コトドリ(1) 利根川の干潟で採餌 鈴木静治         |
|   | 04.04 [手賀川] ツバメ(3) 岸辺に 志賀鉄雄                |

- 04.04 [岩井新田] 材効(1) 杭上 飯泉仁  
志賀鉄雄
- 04.04 [鷺野谷新田] ノリ(1) 電柱上 飯泉仁  
志賀鉄雄
- 04.05 [中原ふれあい防災公園] ヲミ(3) 飯泉仁  
10:10、2羽は鳴きながら林の中を移動、  
1羽は地面で餌を物色していた
- 04.05 [下沼田] ヲウノボウ(1) 電柱上より 鈴木静治  
田のキジめがけて降下、キジの反撃で飛び去る
- 04.05 [千間橋] ヲウノボウ(1) 上空を停 鈴木静治  
飛し、獲物探す
- 04.05 [下沼田] ヒ(1) 田を低空飛行し、 鈴木静治  
電柱に止まる
- 04.05 [手賀新田] ヒ(1) 田より飛び立ち 志賀鉄雄
- 04.05 [手賀沼下沼] 材効(1) 岩井地先、 志賀鉄雄  
葦下より声
- 04.07 [大津ヶ丘1丁目] ツミ(1) 電線にて 志賀鉄雄  
鳴く
- 04.11 [北新田] ヲウノボウ(1) 畦で 中野久夫
- 04.12 [布瀬] サバ(3) 11:20、電線と電柱 飯泉仁・久美子  
に止まり、餌を狙った捕獲した後に上空を旋回し、ディスプレイフライトを行った
- 04.12 [若白毛] サバ(1) 16:51、水田地区 飯泉仁・久美子  
に隣接した電線に止まり、餌を狙った後、田圃に降り立ち捕獲
- 04.12 [中沼田] ヲウノボウ(1) 飛翔 志賀鉄雄
- 04.12 [中沼田] ハブサ(1) 飛翔 志賀鉄雄
- 04.13 [大井新田先手賀沼] コハチヨウ(3) 飯泉仁  
11:00~11:09、2羽は沼の水面を泳いでいた、1羽は芦原近くに浮き巣を作り抱卵中
- 04.13 [大井新田先手賀沼] マガモ(1) 飯泉仁  
11:00~11:05、雄成鳥個体が沼の水面を泳いでいた
- 04.13 [片山新田先手賀沼] ヒ(1) 11:36 飯泉仁  
~12:00、田圃上空をハシボソガラスに追尾されて旋回
- 04.13 [片山新田先手賀沼] セッカ(1) 11:36 飯泉仁  
~12:00、鳴きながら移動
- 04.13 [片山新田先手賀沼] キンクロビ(3) 飯泉仁  
11:36~12:00、沼の水面を泳いでいた
- 04.13 [片山新田先手賀沼] ミサコ(1) 飯泉仁  
11:36~12:00、沼の水面にある杭で魚を食べていた
- 04.13 [片山] サバ(1) 13:02、上空を旋回 飯泉仁  
していた
- 04.14 [染井入新田] ヒ(1) 採餌 小玉文夫・木村稔・染谷迪夫
- 04.14 [手賀沼] オガガモ(2) 下沼2 染谷迪夫・木村稔・小玉文夫
- 04.15 [北新田] ヲウノボウ(1) 畔上 中野久夫
- 04.16 [北新田] ヒ(1) 1、1、 中野久夫  
2号排水路で
- 04.16 [北新田] ヒ(1) 物色飛翔 中野久夫
- 04.17 [千間橋] コハチヨウ(4) 川の中州に 鈴木静治  
2箇所巣設営
- 04.19 [手賀沼上沼] 材効(1) 葦中下より 志賀鉄雄  
り声
- 04.21 [高野山] ヤガラ(1) 水浴 平岡考
- 04.23 [北新田] 材効(1) 、 サクラ山で 中野久夫
- 04.24 [柳戸] 材効(1) 立ち木上に 志賀鉄雄
- 04.24 [手賀沼下沼] 材効(1) 声、岩井 志賀鉄雄  
新田地先
- 04.25 [篠籠田] セダハシイ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 04.26 [北新田] 材効(3) 越流堤ヨシ原 中野久夫  
で囀り
- 04.26 [北新田] 材効(1) 越流堤ヨシ原 中野久夫  
で囀り
- 04.26 [東中新宿] トツグミ(1) 4:10、6:20 飯泉仁  
すぎに自宅周辺で鳴き声がした
- 04.26 [片山] 材効(1) 囀り 志賀鉄雄
- 04.26 [手賀] サバ(1) 飛翔 志賀鉄雄
- 04.27 [布佐平和台] ツミ(1) 空中でルボリ 鈴木静治  
ガラスを攻撃
- 04.29 [東中新宿] ヲミ(1) 6:32、電線に 飯泉仁  
止まり、ケツケツと鳴いていた
- 04.29 [柳戸] セダハシイ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 04.29 [柳戸] ヒ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 04.29 [布瀬] ヒ(1) 囀り 志賀鉄雄
- 04.30 [鷺野谷] イゾムシイ(1) 囀り 志賀鉄雄

04.30 [手賀] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄  
 05.01 [下沼田] 仔(1) 水面上を飛び  
 岸辺に止まる 鈴木静治  
 05.01 [大島田] 仔(1) 斜面林枝より  
 飛び立ち 志賀鉄雄  
 05.01 [藤ヶ谷新田] 牝(1) 囀り  
 志賀鉄雄  
 05.01 [金山] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄  
 05.01 [金山] 仔(1) 囀り移動  
 志賀鉄雄  
 05.01 [藤ヶ谷] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄  
 05.01 [布瀬新田] 比(1) カラスに追わ  
 れる 志賀鉄雄  
 05.03 [新木野] アバ(1) 電線に留ま  
 っていた 中根文世  
 05.04 [中峠利根川ゆうゆう公園] クサギ  
 (4) 採餌 諏訪哲夫  
 05.04 [片山] 牝(1) 14:24、林の中で  
 囀っていた 飯泉仁・久美子  
 05.04 [片山] 比(1) 14:34、上空を  
 追尾して出現し、旋回 飯泉仁・久美子  
 05.04 [片山] コドリ(2) 14:34、鳴きなが  
 ら逃げ惑っていた 飯泉仁・久美子  
 05.06 [片山] 加(1) 囀り 志賀鉄雄  
 05.06 [片山] 加(1) 囀り 志賀鉄雄  
 05.06 [布瀬] 比(1) 飛翔 志賀鉄雄  
 05.07 [高野山] セダ 仏(1) 囀り  
 平岡考  
 05.07 [泉] サバ(1) 塩ビパイプ上  
 志賀鉄雄  
 05.08 [若白毛] ヤガラ(1) 囀り 志賀鉄雄  
 05.08 [若白毛] エゾ 仏(1) 囀り  
 志賀鉄雄  
 05.08 [若白毛] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄  
 05.09 [北新田] 杉(1) 、 2号排水  
 路で 中野久夫  
 05.09 [北新田] 材(1) 加バトを追う  
 中野久夫  
 05.09 [柏] 仔(1) 7:40、柏駅南口デ  
 ッキ上空を鳴きながら旋回 飯泉仁  
 05.09 [柏] 仔(2) 7:50~8:15、今  
 シーズン繁殖した幼鳥が換気口の中から  
 外を警戒していた、その後親鳥が餌を運ん  
 できて幼鳥に与え渡去した 飯泉仁  
 05.10 [片山] セダ 仏(1) 7:59、林の中  
 で囀る 飯泉仁・久美子  
 05.10 [発作] 仔(1) 10:25、下手賀橋

周辺を泳いでいた 飯泉仁・久美子  
 05.10 [鷲野谷新田] 仔(3) 採餌  
 志賀鉄雄  
 05.11 [発作] 仔(4) 水田 桑森亮  
 05.12 [北新田] ヒトリ(1) 水田で採餌  
 中野久夫  
 05.12 [手賀沼] 比(5) 上沼 2、下沼 3  
 染谷迪夫・木村稔・北原健郎・間野吉幸  
 05.12 [手賀沼] 比(1) 上沼 1  
 染谷迪夫・木村稔・北原健郎・間野吉幸  
 05.12 [布瀬新田] 仔(1) 畦に下  
 りる 志賀鉄雄  
 05.14 [手賀] 材(1) 立木上部に  
 志賀鉄雄  
 05.16 [北新田] 加(1) 利根川河川敷で  
 鳴き声 中野久夫  
 05.18 [湖北台 4丁目] 比(1) 飛翔、  
 上空を二声鳴いて通過 赤尾完  
 05.18 [発作] 比(1) 14:38~14:55、水  
 田地帯で採餌 飯泉仁・久美子  
 05.18 [中原ふれあい防災公園] 比(1)  
 10:00、鳴きながら通過 飯泉久美子  
 05.19 [北新田] 仔(2) 群  
 れ中 中野久夫  
 05.20 [湖北台 2丁目] 比(1) 飛翔  
 大久保陸夫

#### 今回の投稿者の総投稿件数

赤尾完	4
飯泉久美子	8
飯泉仁	476
飯泉仁・久美子	159
大久保陸夫	4
桑森亮	18
桑森亮・猪爪敏夫・北原建郎	4
小玉文夫・木村稔・染谷迪夫	22
志賀鉄雄	105
首藤佑吉	2
鈴木静治	39
諏訪哲夫	13
染谷迪夫・木村稔・北原建郎	
間野吉幸	24
中根文世	1
中野久夫	125
平岡孝	3
<b>総計</b>	<b>1005</b>

(諏訪哲夫)

## 会 員 便 り ( ab-birdnet, ab-news より )

### ノビタキ

昨日 13 日の定例探鳥会は雨のため中止でした。カウントも中止となり、14 日木村さん、染谷さん、小玉でカウントを行いました。染井入新田の堤防でカウントを行い下に降りる途中、すぐ目の前の田にノビタキがいました。細い枝先から飛び立っては戻る行動を繰り返しています。昆虫類を捕食しているのでしょうか。頭はまだ黒くなく胡麻塩模様、胸は薄い橙色をしていました。

「手賀沼の鳥」で調べますと、毎年観察されていますが、ほとんどが秋の観察で、春の観察は 03 年 4 月に始めて観察されています (08/04/14 小玉文夫)

### 北新田便り (中野久夫)

[ 04/16 ]

北新田では 12 日に水張りをはじめ、14 日に代かきが始まりました。

- ・ 今春のムナグロの初認は 4/7 ( 去年は 4/8 ) の 1 羽、チュウサギの初認は
- ・ 4/11 ( 去年は 4/15 ) の 2 羽でした。
- ・ 4/12 朝、100 羽以上のヒヨドリ群の北上が見られました。
- ・ 4/14 からセッカの囀りが聞かれるようになりました。

[ 05/01 ]

北新田では 4 月 19 日に田植えをはじめ、今日現在ほぼ 80% が終わりました。

- ・ 今朝も 25 羽のヒヨドリ群の北上が見られましたが、4 月 21 日には 100 羽以上の群 2 つの北上が見られました。
- ・ 4 月 23 日には 2 羽、24 日には 8 羽のチュウシャクシギが見られました。
- ・ 4 月 25 日からキョウジョシギ、26 日からキアシシギがムナグロの群れ中で見られるようになりました。
- ・ 4 月 26 日からオオヨシキリのにぎやかな鳴き声が聞かれるようになりました。
- ・ 4 月 26 日の朝、越流堤横のヨシ原でオオセッカ 1 羽が盛んに囀っていましたが、声が聞かれたのはこの日 1 日だけでした。
- ・ 4 月 28 日からアマサギも見られるようになりました。

[ 05/16 ]

- ・ 北新田の田植え、例年 5 月 20 日頃行なわれる田 1 枚を除きすべて終わりました。
- ・ 今朝、利根川河川敷でカッコウが鳴いていました。今年の初認で、昨年 (5 月 23 日) より 1 週間早いです。

[ 06/02 ]

- ・ カッコウは利根川河川敷、ホトトギスは南側の斜面林で鳴いていました。

### ヒレンジャク

今日の午後手賀沼第 2 機場のふるさと公園側の葦原 ( かつて池の如き状態で、冬場はカモ類が集まっていた場所 )、遊歩道から 70m 位先の柳にヒレンジャクが何羽か居ました。未だ居たのですね。 ( 2008/04/24 吉田隆行 )

ヒレンジャク到来のニュース、嬉しいですね。

1w ほど前に、ついだったのですが山中湖に立ち寄りしました。長池付近でヤドリギの実が食されていないまま残っていました。すでに赤く色づいたものもありました。不審に思ってペンション「くりの木の下」のオーナーに電話で聞いてみたところ今冬のヒレンジャク

クは皆無だったとのことでした。理由は不明です。次いで、例の水場に行ってみました。20台ほどのカメラの放列に先ず驚きました。聞けば当日の朝がダイヤモンド富士だったそうで一仕事を終えたカメラマンが流れてきたのでした。水浴びに来る鳥は豊富で、シジュウカラ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、マヒワ、メジロ、オオルリ、センダイムシクイを観察しました。（2008/04/25 首藤佑吉）

### 三番瀬・谷津干潟

昨 27 日、三番瀬へ出かけました。満潮 07:20 で、私たちの現地への到着は 09:00 前で、汐が引き始めた時間帯で、鳥たちは岸近くで採餌していました。ただ、潮干狩りなどの家族連れが多数海岸を埋めていました。まだ、50羽以上のミヤコドリが集団で、岸近くにいました。その他、数が多かったのは、ハマシギ、ダイゼン、キョウジョシギ、メダイチドリ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギなどでした。今年初めてコアジサシを見ました。ダイサギ 1羽は、嘴が夏仕様でした。

10:00 に谷津干潟へ移動し、千葉県支部の探鳥会に参加。ここは、この時間、まだ満水状態でしたが、11:00 過ぎた頃から、地面が顔を出し始め、鳥たちがやってくるようになりました。オバンシギ 2羽が夏羽で近くに現れ、じっくり観察しました。夏羽のトウネン、キアシシギなども近くでよく見れました。ここでは、30数種との出会いがありました。シーズンなのでしょう、神奈川支部と、もう一つの団体や、個人のバーダーが多くきていました。（2008/04/28 田丸 喜昭）

### ゆうゆう公園

今日ゆうゆう公園に行ってみました。オオヨシキリが3箇所で囀っていました。ピオトープにはクサシギ、コチドリが入っていました。（2008/04/28 諏訪哲夫）

### 手賀沼

手賀沼にはコアジサシが、上沼田にはチュウシャクシギ、ムナグロが入っていましたが、まだシギチは少ないようです。

あけぼの山にも行ってみました。夏鳥には出会えず、アカハラがまだ残って囀っていました。（2008/04/28 桑森亮）

散歩がてら手賀沼公園に行きましたらコブハクチョウ 3羽に混ざってコハクチョウが 1羽いました。（午前 10 時 10 分）仲間と外れ北に帰りそびれてしまったのでしょうか。午後 12 時 25 分に公園へ戻った時は、コハクチョウもコブハクチョウもいませんでした。また、ユリカモメが 1羽完全な夏羽で同時刻に杭の上で休んでいました。

（2008/05/01 間野吉幸）

### 我が家のシメ

我が家に通ってきていたシメがこの 1 日を最後に姿を見せなくなりました。去年は 5 月 5 日の旅立ちでした。昨 1 2 月 9 日に姿を見せてから約 5 ヶ月我が家の餌場に通ってきたこととなります。今年のシメは例年に比べてとても逃げ足が速く、昨冬のシメとは違う感じでした。それとここ 3 年ほど見られた旅立ちが近付くと近隣のシメ達数羽で立ち寄る現象がありませんでした。朝窓を開けると聞こえたピチッ、ピチッという鳴き声が聞こえなくなってなんとなく淋しい気がします。（2008/05/05 諏訪哲夫）

### 新木野でアオバズク

会員の中根文世さんから鳥だよりをいただきました。

「5 月 3 日 我孫子市新木野 3 丁目 午後 10 時半ごろ。家の二階にいと、ホ、ホ、と



いう声。思わず双眼鏡を持ち、外に。電線に留まっている姿、発見。暗くてよく見えず、家に帰り懐中電灯を持ち、照らして双眼鏡で見ると、アオバズク。息子もカメラを持、撮ったが目だけがギラリと光り姿はぼんやり、10分くらい留まっていたが飛んでいった。我が家の前のアオバズク。ビックリして興奮しました。(2008/05/05 染谷迪夫)

### 房総風土記の丘

快晴の5月6日には、房総風土記の丘を歩いてきました。往路、手賀沼南側道路の片山新田の田んぼで、5羽のアマサギの首から上と背中の上部分が綺麗なアマサギ色になったのを車を止めてじっくり見ました。先へ進んで、新木駅を下ったところにある新木村下の信号近くの田んぼで、ムナグロ約150羽が採餌したり、畦で休んでいました。畦には、キョウジョシギ10羽もいました。頭上を約100羽のムナグロが旋回しながら通過していきました。風土記の丘は比較的静かでしたが、沢山のウグイスが色々な方言で囀っていました。2羽のコジュケイが、領域争いをして、鳴き交わしていると思ったのは、その1羽の鳴き方が違うので、近寄ってみたら姿は見えませんでした、太いピーーと繰り返していたので、ノスリと判断しました。坂田ヶ池には、ハシビロガモのつがい50羽ほど、コガモ4羽、カルガモ2羽いました。この時期、ハシビロガモがこれだけ沢山いたのに、驚きました。(2008/05/07 田丸喜昭)

### 発作地区

5月11日、発作地区へシギチを見に行きました。ムナグロが群れて多数、キョウジョ、キアシ、チュウシャクのほか、ウズラシギもいました。途中、道路脇の下沼田の田圃でもムナグロ他がいきました。今日の朝(5/17)、再び発作に行ってみました、先週から半減していました。帰る途中、手賀川ではオオヨシキリが盛んに囀っていました。

(2008/05/17 桑森亮)

### ホトトギス

快晴の日曜の5月18日朝8時40分、湖北台4丁目ホトトギスの本年第一声を聞きました。姿が見えなかったのが残念でしたが、上空を二声鳴いて通過するのを聞きました。

(2008/05/18 赤尾完)

### 鳥研

いずれも鳥研ですが、4/21、22とヤマガラが見られました。あと、連休明けにセンダイムシクイが囀っていました。(2008/05/20 平岡考)

## 手賀沼学会大会 案内

主 催 手賀沼学会

日 時 7月5日(土)13時~16時

会 場 中央学院大学 611 教室

内 容 シンポジウム『手賀沼周辺の豊かなみどりを保全するために』  
- いま市民の力で何ができるか -

展 示 上記会場で掲示物、パネルの展示があります。

発 表 我孫子野鳥を守る会は「手賀沼ピオトープ鳥類調査」の過去9年間の観察記録をパネルで発表します。

**平成20年度定期総会が開催されました**

平成20年4月13日(日) 午後1時30分~午後3時00分 アビスタIF 工芸工作室において平成20年度定期総会が開催されました。平成19年度事業報告および平成19年度決算報告、平成20年度事業計画案および平成20年度予算案について提案説明があり、討議の結果原案どおり可決されました。

**出席者**

染谷迪夫、赤尾完、田丸喜昭、間野吉幸、北原建郎、猪爪敏夫、松本勝英、類地佑子、吉田隆行、島崎純造、野口隆也、中野久夫、佐々木隆、小林寿美子、木村稔、田中功、小玉文夫、諏訪哲夫、桑森亮、松田幸保、富田伊基子

**平成19年度決算および平成20年度予算**

(単位 円)

	19年度決算	20年度予算
<b>収入の部</b>		
会費	328,000	300,000
会行事収入	1,465,100	1,500,000
外部行事収入	30,000	0
受託事業収入	126,000	126,000
その他の収入	128,344	0
前年度繰越金	241,693	369,824
合計	2,319,137	2,295,824
<b>支出の部</b>		
野鳥の部	1,470,560	1,570,000
環境保全の部	3,504	10,000
啓発活動の部	356,007	290,000
庶務の部	99,392	137,000
その他費用	19,850	50,000
次期繰越金	369,824	238,824
合計	2,319,137	2,295,824

**平成20年度下期行事予定**

期日	行事
10/12(日)	手賀沼定例探鳥会 手賀沼クリーン作戦
11/08(土) 09(日)	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾊﾞｰﾄﾞﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ(JBF)
11/16(日)	手賀沼定例探鳥会、幹事会
11/30(日)	福島潟探鳥会
12/07(日)	手賀沼ふれあい清掃
12/14(日)	手賀沼定例探鳥会
12/21(日)	芋煮会
12/30(火)	涸沼探鳥会
01/03(火)	波崎・北浦探鳥会
01/11(日)	手賀沼定例探鳥会、幹事会
01/18(日)	銚子万モメ探鳥会
01/25(日)	市民手賀沼探鳥会
02/01(日)	井頭公園探鳥会
02/08(日)	手賀沼定例探鳥会
02/21(土) 22(日)	福島野鳥の森探鳥会
02/28(土)	
03/01(日)	市民活動フェア
03/08(日)	手賀沼定例探鳥会、幹事会
03/22(日)	北本自然公園探鳥会

**7月幹事会開催のお知らせ**

日時	7月13日(日) 13:30~16:30
場所	アビスタ 第2学習室
議題	1. JBFの参加 2. 会報204号記載記事について 3. 手賀沼流域フォーラムへの参加 4. 報告事項

## 我孫子野鳥を守る会ホームページの開設

我孫子野鳥を守る会のホームページの開設が1月の幹事会において決定され、ホームページ作業部会が設けられました。その後、10名の作業部会メンバーで検討を重ね準備を進めてまいりました。ホームページには次のページを計画しています。

- ・我孫子野鳥を守る会の活動など当会の紹介
  - ・探鳥会予定、実施した探鳥会で認めた鳥
  - ・手賀沼周辺の鳥を写真と説明文とで紹介
  - ・手賀沼周辺の探鳥地案内
  - ・会員の皆さんが撮影した写真を掲載するギャラリー
- など、盛りだくさんです。なお、8月公開の予定です。

### ホームページギャラリーへの掲載写真を募集します

ホームページに会員の皆さんが撮影された写真発表のページ「ギャラリー」も設けます。奮って応募ください

#### 写真応募要項

1. 被写体は野鳥及び動植物等の自然物で会員が撮影した写真であること。
2. 国内、国外は問わない。
3. デジタル写真であること。フィルム作品はスキャナーでデジタル化し受け付ける。
  - 1) 画像の大きさ : 横幅 600ピクセル
  - 2) ファイルの大きさ : 100kb 以下
  - 3) 写真の拡張子 : .jpg または .JPG であること。
4. 応募方法
  - 1) 応募先 吉田隆行 : [abikoyacho@yahoo.co.jp](mailto:abikoyacho@yahoo.co.jp)
  - 2) 記載事項 : 題名、撮影地、撮影年月日、撮影者氏名
  - 3) コメントがあれば、50字程度迄受け付ける。
  - 4) 締切り : 第一回 2008/7/31 以降毎月末
  - 5) 応募点数 : 1人3点程度(応募状況により見直しする)
5. 掲載方法
  - 1) 毎月集まった写真を順次掲載する。
  - 2) 応募数が多い場合は一部掲載しない場合もある。
  - 3) 不相当と判断された物は掲載しない。
  - 4) 題名、撮影地、撮影年月日、撮影者氏名及びコメントを掲載します。
  - 5) 一度掲載した物は、当面其の儘残す予定です。

## 5月幹事会報告

日 時 5月11日(日) 13:30~17:00

場 所 こもれび 調理室

議 題

1. H20年度下期行事予定
2. 会報203号記載記事について  
会報203号に記載する記事を検討した。(行事予定、実施行事報告及び感想文、など)
3. JBF参加について  
参加内容は昨年同様 紙芝居、庭に鳥を呼ぶ、手賀沼の水鳥または当会35年の野鳥観察記録のパネル展示、船上BW、定点BW(認めた鳥の写真展示)等  
・紙芝居については、今年度も新作を製作、発表。  
・鳥だよりのデータを整理し、JBFで発表できないか検討。担当は、間野、野口、佐々木とし、具体的には次回幹事会で決定し準備に入る。
4. 手賀沼学会パネル展示  
ビオトープ調査9年のデータを纏め、6枚程度のパネルで紹介。
5. その他  
・H20年度の手賀沼流域協働調査(水質等)WGの報告会が5/28(水)に水の館研修室で開催される。興味のある方は参加を。  
・西巻提案の写真データの集積の提出期限は6月末。ご協力を。  
・ビオトープ調査の依頼が正式に来て、請書を先方に提出。  
・HPの試運用を幹事対象に6/1から始める。8月からオープンにする予定で、会報へのプレアナウンスを小玉が検討を行う。

## ご 寄 付

山野辺伸作さんよりご寄付を頂戴しました。厚く御礼申し上げます。

### ほーほーどり No.203 2008年(7~8月号)

発 行 2008年7月1日

発行人 我孫子野鳥を守る会 会長 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel 04 7182 3972

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会 費 年会費 2,000円(大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)